# そばくり博覧会

# 事前説明資料

作成　津田秀和（愛知学院大学）

# 事前説明資料の構成

1. そばくり博覧会についての説明

2. 前回までの報告事例

3. 協働研究のヒント

# 趣旨と目的

- 協働で，一人ではなしえないことを
- SDGsでも注目されるほどに，社会課題の解決には協働は必要
- 多様性を活かした協働が，新しい価値を生み出す

より良い社会をめざした「協働」を、拾い上げ、広め、皆で学び、次の志を育て、次のアクションへと促そう！

# 対象事例

- 人・地域・社会に役立つプロジェクト
  - ソーシャル・アントレプレナーシップが発揮され、社会的価値が創造されている
- 「面白さ」「わくわく」「インパクト」がある
  - 事業内容（コンセプト=Whom・What），協働の組み合わせ（ビジネスモデル=how），関わる人々（社会企業家＝Who）、空間・領域・地域（Where）。

# 2つの部門

- マイニング部門
  - 社会的価値を創造している協働事例を、全国から広く発掘・調査して、事例としてまとめてプレゼン！
- クリエイティブ部門
  - 協働プロジェクトの企画立案・創造にチャレンジ！
  - パートナー組織等のご協力のもと、ソーシャル・アントレプレナーシップを発揮して、協働プロジェクトの創造と実現にチャレンジして、そのプロセスと成果を、事例にまとめてプレゼン。

# 1. そばくり博覧会について

# 要CHECK！

| | 日時 | 場所 | ポイント |
|---|---|---|---|
| 事前説明<br>（ゼミごと） | 任意 | 配付資料を用いて，ゼミごとに実施 | 趣旨，内容，スケジュール，参画の仕方を理解し，研究の仕方を学ぶ。 |
| そばくり博覧会<br>エントリー | 6月15日（土）<br>23時締めきり | オンライン<br>（google form） | 学生代表者が，チーム名，発表テーマ，要旨等をアップする。 |
| 中間報告会資料の<br>アップロード | 7月10日（水）<br>締め切り | オンライン<br>（Dropbox） | 代表者にメールで送付するアップロード先に，報告資料をアップロードする。 |
| 中間発表会 | 7月13日（土）<br>13時～17時 | オンライン<br>（zoom） | 調査に関する方向性やリサーチデザインを報告し，今後の調査実践へのアドバイスをもらう。（10分以内報告の予定） |
| そばくり博覧会<br>エントリー | 11月21日（土）<br>締めきり | メール | 中間発表会参加グループの代表者にメールで参加意思確認をするので，それに応える形で代表者が，チーム名，発表テーマ等を連絡する。 |
| そばくり博覧会資料<br>のアップロード | 12月18日（水）<br>締めきり | オンライン<br>（Dropbox） | 代表者にメールで送付するアップロード先に，報告資料をアップロードする。 |
| そばくり博覧会 | 12月21日（土）<br>13時～18時 | 愛知学院大学<br>（名城公園キャンパス） | 調査，企画内容を報告し，お互いに学びあう。（10分報告の予定） |
| レポート提出 | 2月22日（土）<br>23時締めきり | オンライン<br>（Dropbox） | A4・3枚程度で調査や活動の報告書を作成し，代表者にメールで送付するアップロード先に提出する。 |

# 各回で意識して欲しいこと

- 事前説明
  - そばくり博覧会の目的，性質，スケジュール，具体的な調査・企画のイメージ，研究のヒントを理解する（本資料の内容）。博覧会についての理解を深め，参加の是非を検討することが重要。
- 中間発表会
  - そばくり博覧会で報告する内容について，目的，テーマ，リサーチデザインなどを報告し，研究実践のアドバイスをうける（エントリーを要する）。研究の方向性について報告し合い，本格的な研究実践につなげるコメントをもらうことが重要。報告時間は10分以内とする。
- そばくり博覧会
  - 夏休みと秋学期を用いて行った研究や企画の実践状況を報告し合い，学びあう。報告時間は10分とする。

# 中間発表会のエントリーについて

- 中間発表会は，各チーム10分程度の報告を前提としてください。
- チーム数は各ゼミで２チームまでとします（5月の打ち合わせで微調整の可能性有）。
- そばくり博覧会　エントリーシート（申し込み先）
  - https://forms.gle/HGGK7TPuRsf7UE2C8
  - 締切（６月15日（土）23：00）にご留意ください。
- アップロード先を代表者にメールで送付するので，7月10日（水）までに，報告資料を指定された方法でアップロードしてください。

- 問合せ先：sobakuri.expo@gmail.com

# そばくり博覧会のエントリーについて

- そばくり博覧会は，各チーム10分程度の報告を前提としてください。
- チーム数は各ゼミで２チームまでとします（5月の打ち合わせで微調整の可能性有）。
- そばくり博覧会への参加意思確認と必要情報のやりとりは，代表者へ送付するメールで行います。
  - 締切（11月21日（土）23：00）にご留意ください。
- アップロード先を代表者にメールで送付するので，12月18日（水）までに，報告資料を指定された方法でアップロードしてください。

- 問合せ先：sobakuri.expo@gmail.com

# ピックアップ1　2022年クリエイティブ部門

# 魔女プロで社会問題解決隊による「私たちの魔女プロジェクト」

- 廃棄衣料問題，廃棄野菜問題，廃棄非常食問題，障がい者の低賃金問題等の社会問題にアプローチして，ソーシャル・ビジネスを創造・展開した「魔女プロジェクト」
- 大阪府内の企業や福祉施設と協働してビジネスモデルを創造。クラウドファンディングやイベント販売を実施
- 2022年度は，プロジェクトの発展を，漫才CM，ビジネスモデルの修正，新たな協働，イベント販売等を伴う形で展開
- 効果検証の結果，学生を応援する気落ちがプロジェクトの魅力につながりうるものの，購入活動につながらないことが判明。赤字は発生したものの，5万人以上の人々に活動の意味を訴求できた。

# ピックアップ2　2022年マイニング部門
# 東海協働調査班による
# 「ひつじ×一宮：行動先行型協働プロジェクト」

- 愛知県一宮市で実施される地域活性化プロジェクト「138ひつじプロジェクト」についての調査，分析
- NPOと信用金庫が基盤を作り，多様な関係者を巻き込む形で成長するプロジェクトとして評価
- シンボル（＝ひつじ）を掲げるもののあえて明確な目標を作らないことが，活動に合わせた拡大可能性を増大させている可能性を指摘

# ピックアップ3　2022年マイニング部門
# 東海地方創生班による
# 「古民家&パートナーシップ～NIPPONIA美濃商家町～ 」

- 岐阜県美濃市で実施される古民家再生，伝統文化・技術伝承，関係人口増加を目的に営まれる「NIPPONIA美濃商家町」についての調査，分析
- 古民家を再生し，宿泊業を営む点では他のNIPPONIAのプロジェクトと同じであるが，より地域資源を活用するべく，地域に密着する点で異なる。
- キーパーソンの働きが，多くの地域資源を結びつけ，無形の遺産である文化と技術の伝承につながっていることを指摘する。

# ピックアップ4　2022年マイニング部門
# PM22:00地域の教育向上委員会による「地方教育魅力化方程式：海士町から学ぶ教育の解はなにか」

- 島根県隠岐郡海士町における「島全体が学校」となり，「夢探究」「マイプロジェクト」等，生徒が地域へ参加する形での先進的な教育の取り組み事例
- 事例をウェンガーの「正統的周辺参加」の理論から解釈。

# ピックアップ5　2023年マイニング部門
# Smile Bloomによる「ひとりも取りこぼさない社会を作る」

- 子育て支援において行政の就学支援制度だけでは不足するという認識のもと「愛知子ども応援プロジェクト」の「実家基金」の活動事例をその協働体系を中心に分析し，着実に拡大できた理由を考察。
- グラノヴェッターの「弱い紐帯」概念を用い，その拡大を人と人との繋がりから説明。

# ピックアップ6　2023年クリエイティブ部門
# ダリア班による
# 「ダリアの未活用問題に対する取り組みの報告」

- フラワーロス問題の解消を「若者」を対象にした体験型マーケティングを企画，実行，成果検証を実施。
- カスタマージャーニー分析に基づき，「花屋への入りづらさ」と「管理の仕方（枯れること等）」の2つを解消するべく，「お花イベント」と「花を一生形に残るモノに変身させる商品」の2つに注力。
- 成果検証の結果，体験型マーケティングの有効性を導出。

# ピックアップ7　2023年クリエイティブ部門
# 学生と企業の協働チームによる「学生と企業の協働について」

- 従来の産学連携は，企業と大学との一対一関係を想定してきたが，成立させることが難しいという困難さを抱えていることから，新しい産学連携として複数の企業と大学との連携を企画し，実行，成果検証を行っている。企業側には，社会性ある企画に参画できるとともに，他企業との繋がりもつくることができる。参加する学生も実践からの学びを体験できる。
- 新しい産学連携の形では大学は，コンセプトやアイディア創造のきっかけとなる。実際に企画され，実行に移されたのはココウェルとの協働を軸にフィリピンの貧困問題解決へアプローチするという，画期的な進化系かき氷。

# ピックアップ8　2023年クリエイティブ部門
# アニマルウェルフェア班による「アニマルウェルフェア広報活動についての報告」

- アニマルウェルフェアの問題について，法制度の整備が十分でないこと，認知度が低いことを背景に，価格の高さと消費者がいない（少ない）という課題に着目し，インタビュー調査を実施。価格の高さが調査結果により裏付けられた。価格が高いながらも，健康に良い点に着目し，このことを訴求することの必要性を認識し，活動を企画，実施。
- 企画されたのは，マップ作り，消費者への訴求ポスター，イベント（紙芝居とクイズ大会等）。

# 3. 協働事例のヒント

一般社団法人そばくりラボ理事
佐々木利廣先生（京都産業大学）
の資料より

そばくり博覧会
social value creation EXPO

1）協働ってなあに？

2）協働はどのように進んでいくか？

3）ワクワクする協働事例を発掘する際のヒント

# そばくり博覧会から得られたこと（昨年度学生アンケートより）

- 座学では得られない経験
- インタビューしないと分からないリアル
- 現場の人の考え方を聞く経験
- 自分の目で見て実践すること
- 事例の切り口の多様さ
- 地元の魅力の発見

↓

地域に埋もれた協働事例を発掘し分析し，PRすることの，面白さを実感

# 協働ってなあに？

「ある社会課題（A）に対して異なる認識をしている複数の主体（B）が、その違いを建設的に捉え限界を打破しながら解決策を探求するプロセス（C）」

**A**

社会課題は多種多様です〔廃棄衣料・環境・食品ロス・障害者支援・地域活性化・・・・マニュアルで対処できるような単純な社会課題もあれば、試行錯誤を積み重ねることで解決の道が見えてくる複雑な社会課題もあれば、一筋縄ではいかない厄介で混沌とした社会課題もある〕

**B**

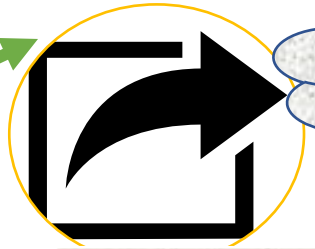
複数の主体も多種多様です〔大企業・中小企業・行政・教育機関・NPO・市民活動団体・市民・・・・協働パートナーも企業同士だけでなく、企業とNPO、行政とNPO、企業や行政と大学、企業とNPOと行政など多種多様な組み合わせがある〕

**C**

解決策の探求プロセスも多種多様です〔社会課題の認識・解決策の模索・解決策の実行・結果・より広い成果・・・・プロセスは予め想定される段階を経るよりも紆余曲折で波瀾万丈の経過を辿ることが一般的〕

# 3. 協働事例のヒント

協働は
どのように
進んでいくのか？



目に見えるものや
ことを産み出す

より広い成果を生
み出してる事例

それぞれ自分らしさ
を発揮する

その組織ならで
はの貢献をして
いる事例

がちがち関係では
なく緩やかな関係

堅い関係だけでなくしなや
かな関係にも注目

違う組織が対等
に関係する

同種組織の協働だけでなく異種組織の
協働にも注目（企業−NPO−行政など）

解決すべき社会課題
に直面

まだ知られていない社会課題に注目するのも
面白い（買物難民など）

# ワクワクする協働事例を発掘するヒント(1)

まずは闇雲に！（絞らない・固執しない・決めつけない）

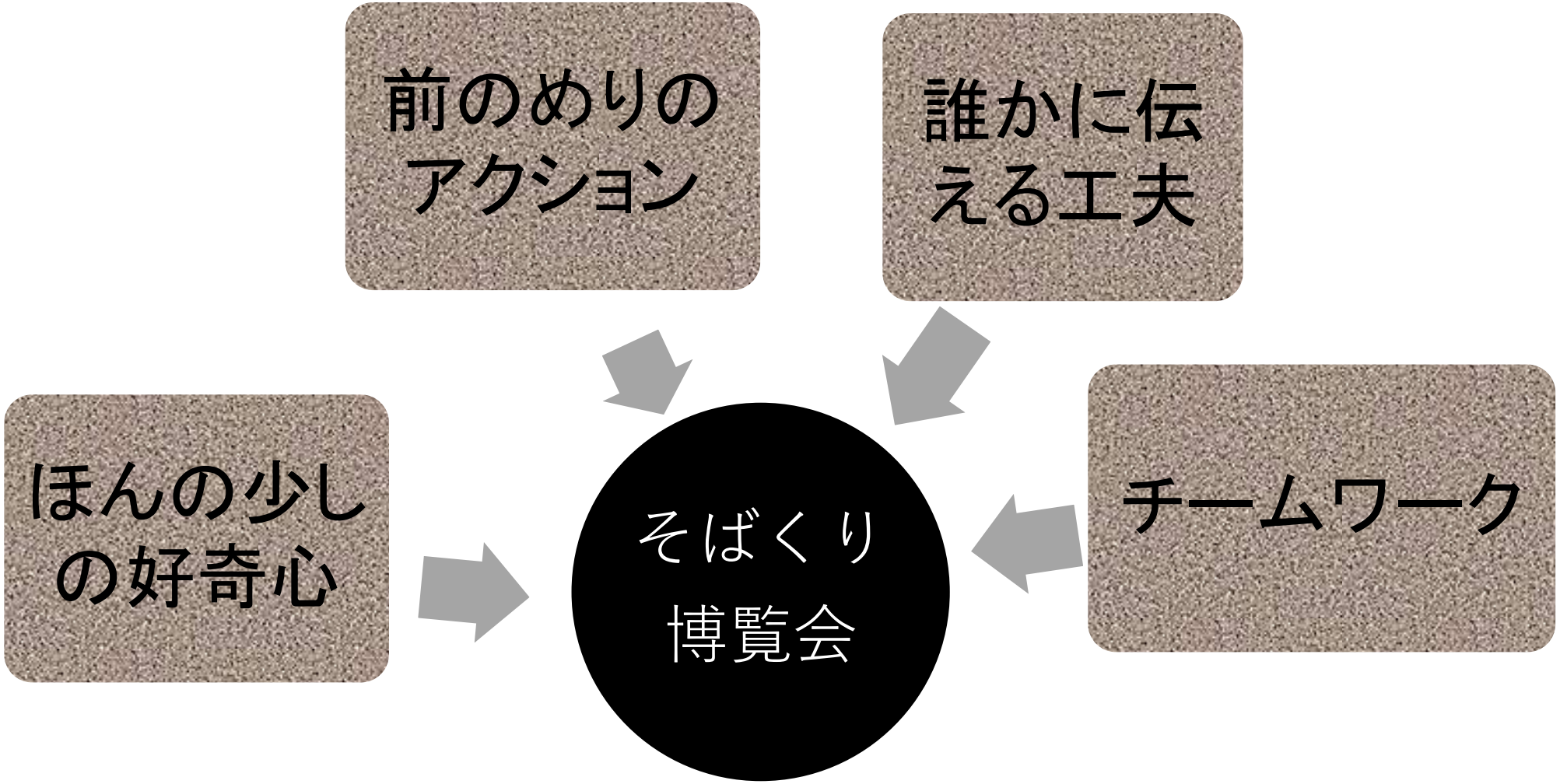
自分たちチームの直感を大切に！

（気持ちが良くなる・ワクワクする・面白い）

なるべく多くの協働パートナーの想いやビジョンをチェックする！

波瀾万丈の過程の方が面白い！

# ワクワクする協働事例を発掘するヒント(2)

- 本格的にだれも手をつけていない事例を探すこと
- ダメモトで取材アクセスをすること(ほとんどOK)
- 芋づる方式に情報を広げながら深掘りしていくこと

# そばくり博に参加する人はこんなことを是非！